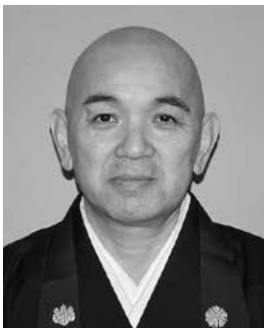
所報 あきた

所 報 あ き た 114号
平成28年５月15日発行
発行所　曹洞宗秋田県宗務所
発行責任者　越 姓 玄 悦
〒010－0812 秋田市泉三嶽根15－18
ＴＥＬ(018)868－6871
ＦＡＸ(018)868－6872
http://soto-akita.com
info@soto-akita.com
題字　能代市倫勝寺　山田晃一
写真　長野県養泰寺　内藤真彦

○平成28年度秋田県宗務所事業計画
○平成28年度秋田県宗務所歳入歳出予算
○所会議長・寺族会会長・禅センター部長挨拶
○寺院実務研修・布教師養成講座
○宗務所ネット法話ほか

平成27年度 通常所会



新しい年度の始まりを迎えて

秋田県宗務所 所長　越　姓　玄　悦

八十八夜を迎え若葉の緑が目に眩しい季節となりました。管内御寺院様におかれましては益々御健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

去る三月二十四日、参与、所会議員諸老師の御出席のもと、宗務所会が開催され、提案を致しました案件全てが、慎重審議のうえ承認可決いただきましたことを御報告申し上げます。宗務所業務に携わり既に二年目を迎えることになり、事業計画案、予算案ともにより一層の充実を求められていることは充分自覚をしていたところでございますが、役職員一同期待に沿うべく精励に務める所存でございますので御理解と御協力をお願い申し上げます。

事業計画及び予算の詳細につきましては掲載ページを御覧いただきますようお願い申し上げますが、所会に先立ち二月五日に災害対策協議会、諮問委員会を開催致しました。席上有意義な御意見、御提言を多数いただきましたが、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の設置についての御提案がございました。ＡＥＤについては御承知の方も多いと存じますが、緊急の心停止に有効なもので、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器です。最近では不特定多数の人が出入りする公共施設に広く設置され、設置の表示を見かけることも多くなりました。

昨年四月、宗務所・禅センターでの梅花講習に参加されておりました檀信徒講員の方が体調を崩され救急車にて大学付属病院に搬送されるということがございました。でき得る限りの対応をさせていただきましたが、命にかかわることでもありますので、可能な範囲で緊急時の救命への備えを充実させる意味で早速予算計上させていただきました。

五月十一日開催の布教委員会、布教協議会では、「葬祭」を題材に、本年度本県担当の特派布教師を交えて意見交換の場としたいと思っております。昨年暮れ、大手インターネット通販に「お坊さん便」が参加することが報じられました。時代の変化に伴い葬祭の形態も変わることは避けられないことかもしれませんが、ここ数年の有り様は好ましいことばかりではないように感じております。一般葬から家族葬へ、家族葬から直葬、そして〇葬へという流れは不可逆的であるという指摘もございました。永代供養墓や合葬墓の設置についても徐々にではありますが増加傾向にあるようです。県内の葬祭の実情を把握するという意味でも、情報を共有できる場となれば有難いことだと思っております。

四月中旬、熊本県、大分県に大地震が発生し多数の方が被災され、今現在も間断なく揺れが続いております。亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

出会いを大切に

所会議長　嵯峨宗一

全国的に桜、桜と浮かれている中、あの激烈な熊本地震。連日の生々しいニュースをみて心が痛みます。亡くなられた方々の御冥福をお祈りし、一日も早く沈静化することを冀っております。

昨年度は所会議員、そして所長はじめ職員の交替もありましたが力を合わせながら今日まで順調に行事を遂行してまいりました。新しい方々と新鮮な出会いを楽しみながらも年齢を重ねてくると一方では昔を懐かしむことも多くなってきました。人の生涯には数知れぬ人に出会うものだ。陳腐な言葉だが忘れ得ぬ人々という言葉がある。遠い昔の話になるが先輩に誘われてインド・ネパールを旅してきた。当時のインドの状況を見て日本並みの暮らしになるには百年以上かかるような気がした。ホテルの部屋で日本から一緒に行った隣室の方と一杯飲みながら歓談する機会があった。話題の豊富な方で中国の話になり魯迅という人の話になった。革命に火をつけ革命においてけぼりを食わされた西郷隆盛に関心を抱き、自身も中国で窓から狙撃された作家、社会批評家で革命派の活動家であるということは教科書にも出てくるので私もそれなりの知識はあった。一応知っているつもりで意見を述べたが深く関心もなかったのでイデオロギーの違いですかねと言ったら「それをおっしゃるなら」と言われ滔々と話をされたことを記憶している。なんとその方は金沢大学の名誉教授で中国の研究家として第一人者の増井経夫先生だったのであった。娘婿をお供に連れて悠久のインドを旅していたところだった。魯迅とも何十年来の友達で時々あっておられるようであった。酔いにまかせて失礼な事を言わないでよかったと後で冷や汗をかいた次第です。日本に来てからせめてもの償いと思って先生の本を買って読ませてもらって改めて偉大な方だと思った。ありがたい意義ある出会いだったと今も胸の中で温めているところである。先日は同安居会があり旧交を温めてきた。秋には大学の学部同級会を卒業後初めて開催することになった。皆忘れ得ぬ人々である。増井先生が言われた出会いを大事にし、今年度も皆様と一致協力して秋田県曹洞宗の益々の発展に向けて精進したいと思います。

寺族会会長の任務をお引き受けして

寺族会会長　伊東照子

日毎に春の陽の光が明るさを増し、庭の草や木も様々な表情を見せてくれる頃となりました。一方、四月十四日発生の熊本・大分地震では甚大な被害を受けられ亡くなられた方々にはただただご冥福をお祈り致します。そして今もなお続く余震の中で大変な生活を過ごされております被災地の皆様には、心からお見舞いを申しあげます。

さて、宗務所寺族会総会が四月十二日に開催されました。今年度は役員改選の年にあたり、寺族会規定に基づき会長・副会長三名が選出されました。

重責と自信のなさを感じつつ、清水増子会長様から会長の任務を引き継ぐこととなりました。これから二年間宗務所様のご指導のもと、役員の皆様のご協力はもとより会員の皆様のご協力とご理解をいただきながら進んでまいりたいと思います。

総会当日も宗務所長様はじめ、宗務所の皆様方からご指導や暖かいお言葉を頂戴し心からお礼を申しあげます。

総会出席者の年齢にも幅が広がり世代交代を感じながらも、先輩の寺族様にはいつまでもご出席をいただき寺族としての考え方や生き方を学ばせていただきたいと思います。

今年度事業として第一回東北管区寺族会研修会が山形県で開催されます。平成二十二年に設立された東北管区寺族会でしたが、翌年平成二十三年の東日本大震災から五年、ようやく研修会が開催されます。秋田県宗務所寺族会も参加をし共に研修し学びたいと考えております。

宗務所・禅センターで全教区の寺族会の皆様と出会えますご縁を大切に交流を深め、心にのこる意義深い活動を心がけてまいりたいと思いますので、宗務所様、県内御寺院様のご支援を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

平成28年度　曹洞宗秋田県宗務所事業計画

28年		事　業　名	開催場所	備　考
４月	12日	寺族会総会	宗務所	
５月	11日	布教委員会・布教協議会	宗務所	
	15日	所報第114号発行		予算報告　他
	17日～20日	梅花流全国奉詠大会	富山市	市総合体育館・宗休
６月	８日	監査会	宗務所	
	13日～18日	特派布教巡回	管内18教場	特派布教師３名
	14日	婦人会総会	宗務所	
	20日～25日	梅花特派巡回	管内18教場	特派師範３名
	20日	宗務所護持会総会	ビューホテル	
	29日～30日	寺族会研修旅行	鎌倉	
７月	12日	梅花流全県大会	県民会館	
	29日	通常所会（決算）	宗務所	
８月		禅の集い	管内寺院	
	７日～21日	宗務所休務		盆休み
９月	13日～14日	現職研修会	歓喜寺	
	15日	所報第115号発行		
	19日	梅花検定会（県北地区）四級師範・三級詠範・三級教範まで受検可		
10月	６日	宗務所寺族集会	宗務所	
	６日	宗務所長杯野球大会	秋田市	向浜球場
	18日～21日	本山研修会	總持寺	宗務所休務
11月	１日	禅センター記念日		
	10日	梅花検定会（中央・県南地区）四級師範・三級詠範・三級教範まで受検可		
	16日	禅センター公開講座・禅センター設立集会	キャッスルホテル	
12月	25日～1月9日	宗務所休務		
	29年			
１月	15日	所報第116号発行		新年号
	24日	宗務所梅花講役員会	宗務所	
２月	22日	諮問委員会・災害対策委員会（午後）	宗務所	
	22日	宗務所梅花講講長会（午前）	宗務所	
３月		徒弟研修会		
	24日	通常所会（予算）	宗務所	

曹洞宗秋田県宗務所・禅センター
平成28年度　事業日程表

【禅センター布教部・研修部・梅花部】

No.		月　日	開催時間		事業名・備考
1		4月1日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
2		5月13日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
3		5月23日(月)	13時	布教部	布教師養成講座
4		6月3日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
5		6月8日(水)	10時30分	梅花部	宗務所講師等研修会
6		7月1日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
7		7月2日(土)	13時	布教部	仏教講座①　会場：なかいち
8		7月6日(水)	13時	研修部	研修会①
9		8月22日(月)	13時	布教部	布教師養成講座（3部会研修）
10		9月2日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
11	平成28年	9月7日(水)	10時30分	布教部	写経会
12		9月7日(水)	13時	布教部	仏教講座②（～16時）
13		10月6日(木)	13時		宗務所長杯野球大会
14		10月7日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
15		10月12日(水)	9時	布教部	仏教講座・野外研修
16		11月11日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
17		11月16日(水)	16時		禅センター設立集会
18		11月16日(水)	13時	研修部	公開講座（設立集会併催）
19		11月28日(月)	10時30分	布教部	写経会
20		11月28日(月)	13時	布教部	仏教講座③（～16時）
21		12月2日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
22		2月3日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）
23	平成29年	2月10日(金)	13時	研修部	研修会②
24		2月16日(木)	10時30分	布教部	布教師養成講座
25		3月3日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会（～15時）

平成28年度　曹洞宗秋田県宗務所歳入歳出予算書

（単位：円）

項　　目	前年度予算額	本年度予算額	増　　減
歳　入　合　計	58,934,671	56,210,000	△ 2,724,671
歳　出　合　計	58,934,671	56,210,000	△ 2,724,671
差　引　残　額	0	0	0

歳入の部

項　　目		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	説　　明
1.賦　課　金		41,366,960	41,551,960	185,000	
	1.寺　格　割	1,839,000	1,839,000	0	格地@ 10,000 × 24　法地@５,000 × 317 准法地@２,000 × 7
	2.級　階　割	35,996,960	35,996,960	0	449,962 点× 80 円
	3.教　師　割	3,531,000	3,716,000	185,000	大教師@ 42,000 × 6 名　権大教師@ 30,000 × 61 名 正教師@６,000 × 160 名 一等教師@３,000 × 136 名（一等教師補２名含む） 二等教師@２,000 × 133 名(平成 27 年 12 月 31 日現在)
2.手　数　料		2,400,000	2,000,000	△ 400,000	
	1.手　数　料	2,400,000	2,000,000	△ 400,000	各種申請手数料　宗務所義財金　梅花義財金
3.補　助　金		700,000	700,000	0	
	1.補　助　金	700,000	700,000	0	本庁事業補助　事務補助　徒弟研修会補助 梅花補助　教化補助　現職研修会補助　他
4.諸　収　入		3,500,000	2,800,000	△ 700,000	
	1.諸　収　入	3,500,000	2,800,000	△ 700,000	現職研修会受講料@７,000 × 150 名 梅花検定料@３,000 × 150 名 梅花奉詠大会参加料@２,000 × 500 名 遠忌局 200,000　預貯金受取利息　他
5.繰　越　金		10,967,711	9,158,040	△ 1,809,671	
	1.繰　越　金	10,967,711	9,158,040	△ 1,809,671	
歳　入　合　計		58,934,671	56,210,000	△ 2,724,671	

歳出の部

項目		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	説明
1.人件費		16,340,000	16,540,000	200,000	
	1.役職員手当	5,040,000	5,040,000	0	@70,000×6名×12ケ月
	2.書記手当	1,680,000	1,680,000	0	@70,000×2名×12ケ月
	3.傭人費	200,000	200,000	0	
	4.旅費	4,000,000	4,000,000	0	管区宗連　教化センター　本庁　各種講演会　本山研修会　梅花流全国大会　他（管区集会なし）
	5.費用弁償	4,300,000	4,500,000	200,000	所長8,000　副所長7,000　教化7,000　庶務8,000　梅花5,000　人権4,000　明石書記3,000　佐藤書記8,000（27年度の見込みから4日分増額）
	6.期末手当	1,120,000	1,120,000	0	@70,000×2×8名
2.事務費		4,400,000	4,280,000	△120,000	
	1.備品費	650,000	450,000	△200,000	AED収納箱　書籍　事務機器　他
	2.通信費	1,000,000	1,000,000	0	電話料　郵便料　配送料　他
	3.印刷費	600,000	600,000	0	封筒　賞状　宗務所条例　他
	4.消耗品費	500,000	500,000	0	雑貨　事務用品　他
	5.リース料	550,000	630,000	80,000	AEDリース料・コピー機・電話機・OA機器リース料・フレッツジャパン月額等
	6.広報費	1,100,000	1,100,000	0	宗務所所報3回発行
3.管理費		2,850,000	2,750,000	△100,000	
	1.維持費	700,000	700,000	0	保険料　清掃費　浄化槽管理料　警備保障　除雪費100,000　他
	2.地代	250,000	250,000	0	天徳寺様借地代
	3.営繕費	1,000,000	1,000,000	0	修繕費（1Fクーラー修理清掃）　他
	4.光熱費	900,000	800,000	△100,000	電気　ガス　水道　灯油　他（灯油値下げにより）
4.会議費		1,500,000	1,300,000	△200,000	
	1.所会	1,300,000	1,100,000	△200,000	通常所会2回
	2.委員会	200,000	200,000	0	監査1回　諮問1回　災害対策協議会
5.事業費		10,050,000	9,700,000	△350,000	
	1.事業費	2,150,000	2,150,000	0	現職研修800,000　本山研修700,000 徒弟研修会200,000　寺族集会300,000 所長杯150,000
	2.布教伝道費	1,000,000	1,000,000	0	特派教場@20,000×18 特派布教師送迎費250,000 宗務所布教師日当@5,000×30回 管内教場補助@5,000×30教場　他
	3.梅花費	5,500,000	5,200,000	△300,000	梅花特派教場補助@20,000×18教場 梅花全県大会2,300,000 役員会・講長会300,000　検定会800,000 師範会700,000　一泊研修会100,000 特派師範送迎費250,000 梅花養成所200,000　他
	4.教化費	650,000	650,000	0	布教委員会・協議会300,000（布教協議会年1回）　各種研修会　等
	5.慰問費	150,000	100,000	△50,000	住職永年勤続50年・60年祝膳料　等
	6.人権擁護推進費	600,000	600,000	0	全国人権研修会　書籍　資料　他

項目		前年度予算額	本年度予算額	比較増減	説明
6.禅センター事業費		2,600,000	2,450,000	△ 150,000	
	1.会議費	150,000	200,000	50,000	総務部会議費　各委員会
	2.布教部費	700,000	700,000	0	仏教講座　写経会　布教師養成講座
	3.研修部費	600,000	600,000	0	各種研修会
	4.梅花部費	450,000	450,000	0	梅花流講習会
	5.運用費	700,000	500,000	△ 200,000	備品　設立記念事業費（25周年事業終了のため減額）　等
7.補助費		7,657,000	7,658,000	1,000	
	1.事務補助	4,200,000	4,200,000	0	所費の10%各教区へ
	2.事業補助	347,000	348,000	1,000	教区主催現職研修会・寺族研修会補助金
	3.所護持会補助	700,000	700,000	0	宗務所護持会へ
	4.禅の集い	800,000	800,000	0	教区寺院開催補助金
	5.教化団補助	1,610,000	1,610,000	0	保護司200,000　曹青会500,000 寺族会350,000　尼僧団100,000 婦人会300,000　教誨師60,000 布教師の会100,000
8.表彰費		300,000	200,000	△ 100,000	
	1.表彰費	300,000	200,000	△ 100,000	住職勤続・寺族表彰（27年度で記念品購入）
9.慶弔費		2,400,100	2,400,100	0	
	1.慶弔費	400,000	400,000	0	結制・落慶　本葬　等
	2.本山慶弔費	100	100	0	両本山慶弔会　等
	3.弔慰金	2,000,000	2,000,000	0	管内寺院住職・東堂・副住職100,000 寺族50,000
10.負担金		539,400	539,400	0	
	1.全国所長会	156,600	156,600	0	348ケ寺×@450（含全国所長会災害援護金　348ケ寺×@100）
	2.布教助成費	208,800	208,800	0	348ケ寺×@600
	3.管区費	174,000	174,000	0	348ケ寺×@500
11.交際費		400,000	400,000	0	
	1.交際費	400,000	400,000	0	
12.食糧費		1,150,000	1,150,000	0	
	1.所会食糧費	600,000	600,000	0	通常所会（２）
	2.委員会食費	50,000	50,000	0	監査会（１）　諮問委員会（１）
	3.所内食糧費	500,000	500,000	0	
13.財政調整費		8,284,671	6,379,000	△ 1,905,671	
	1.災害見舞金	2,000,000	2,000,000	0	寺院火災見舞金　１ケ寺分
	2.記念品代	750,000	1,200,000	450,000	役職員・教区長退任記念品代
	3.財政調整金	4,534,671	2,179,000	△ 2,355,671	設備費・災害対策協議会援護金
	4.基本金繰出金	1,000,000	1,000,000	0	
14.選挙費		300	300	0	
	1.副貫首	100	100	0	
	2.宗務所長	100	100	0	
	3.宗会議員	100	100	0	
15.雑費		163,200	163,200	0	
	1.雑費	163,200	163,200	0	町内会費　新聞購読料　置き薬　他
16.予備費		300,000	300,000	0	
	1.予備費	300,000	300,000	0	
歳出合計		58,934,671	56,210,000	△ 2,724,671	

項　　目	前年度予算額	本年度予算額	比　較　増　減
歳　出　合　計	58,934,671	56,210,000	△ 2,724,671

平成28年度　東北管区事業計画

28年		事　　業　　名	開催担当・会場	備　　考
４月	７日	第148回禅を聞く会	楽楽楽ホール	元NHKアナ　村上信夫先生
	21日	教化センター布教師連絡協議会	センター	
５月	６日～11日	管区40周年記念事業祈りの道	センター	
６月	１日	第149回禅を聞く会	楽楽楽ホール	駒女教授　千葉公慈老師
	２日	管区人権三者協議会	センター	ホテルモントレー
	28日	宗務所連絡協議会	山形第一	
７月	５日～６日	管区婦人会研修会	青森県	まかど温泉
	21日	第46回教化フォーラム	センター	メルパルク仙台
	28日	教化活動企画委員会	センター	
８月	３日	第150回禅を聞く会	楽楽楽ホール	作家　井沢元彦先生
９月	１日～２日	青少年教化指導者研修会	センター	メルパルク仙台
	６日～７日	管区寺族会研修会	山形第３	あつみ温泉
	28日	教化活動企画委員会	センター	
10月	５日～６日	管区布教講習会・検定無し	宮城県	メルパルク仙台
	24日～25日	管区役職員人権啓発研修会	岩手県	
	27日	第151回禅を聞く会	楽楽楽ホール	大谷哲夫先生
11月	９日～10日	青年会東北地方大会	管区共催	七回忌法要（仙台）
	15日	第47回教化フォーラム	センター	メルパルク仙台
	16日	センター布教師連絡協議会	センター	
12月	１日	40周年記念式典・第152回禅を聞く会	江陽グランドホテル	沖縄民謡・古謝美佐子
	２日	宗議・宗務所連絡協議会（予定）	センター	
29年				
２月	１日	第153回禅を聞く会	楽楽楽ホール	青山俊董老師
	９日	教化活動企画委員会	センター	
	21日	教化活動推進委員会	センター	

平成28年度　宗務所基本金積立会計説明

（将来の宗務所改築のための積立）

平成27年度　基本金積立会計

積立累積金	15,551,362
一般会計繰入金	1,000,000
利　息	4,035
計	16,555,397

平成28年度　基本金積立会計案

積立累積金	16,555,397
一般会計繰入金	1,000,000
利　息	4,250
計	17,559,647

禅センターだより

「同事」のみ教えに学ぶ

布教部長　柴田康祐

今までに類を見ない形で発生いたしました熊本地震は、九州地方を中心に甚大なる被害をもたらしながら、今なお多くの方々が、いつ来るかもしれない不安と恐怖に苛まれております。長引く避難所生活の中で、極度の疲労とストレスにより、体調を崩される方が続出しているとの情報も、テレビや新聞等で連日のように報道されております。

被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

東日本大震災の発生から五年、被災地では未だに沢山の課題が山積する中で、ほとんど毎年のように繰り返される大きな自然災害を前に、管長様は『修証義』の中に説かれます「海の水を辞せざるは同事なり、このゆえに、よく水あつまりて海となるなり」という一文を引用され、「同事」のみ教えを中心とした「おことば」をお述べになっておられます。

また、本年度の布教教化方針にも、「同事」のみ教えを柱とし、「ともに願い　ともに寄り添い　ともに歩む」という菩薩の誓願の推進を謳っております。

よって本年度の布教部では、「同事」のみ教えについて深く参究しながら、従来の活動をさらに充実させる形で展開して参りたいと思います。

先ずは、五月に開催されます「布教師養成講座」におきまして、富山県・林洞寺住職・倉田豊彰老師を拝請し、法話に臨む上での大切な心得をご教授いただくとともに、「同事」をテーマとした五分間法話の実践を通じて、倉田老師からご講評を賜りながら、更なる向上に努めて参りたいと思います。

また、年に四回開催いたしております「仏教講座」（野外研修を含む）の第一回目を、秋田駅前の「エリアなかいち」にございます「にぎわい交流館ＡＵ」において開催し、より多くの方々に、仏教に触れていただく機会を提供しながら、「同事」のみ教えの敷衍に尽力して参りたいと思います。

県内ご寺院様におかれましては、これまで同様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

新たな試みを取り入れながら

梅花部長　浅田高明

管内諸老師には日頃から梅花流の発展に御尽力賜り深謝申し上げます。

さて、禅センター梅花部の最大事業が檀信徒梅花講習会ですが、受講者は全盛期から比べると誠にさみしいかぎりです。しかしながら、近年少しずつではありますが、新規初心者の方も増えております。講師陣も、超ベテランから、ういういしい本庁・宗務所養成所の卒業生・所員迄、多彩な顔ぶれで頑張っております。受講して下さる檀信徒講員さんにとってもバラエティーに富んだ講習が受けられ、微力ながらもお力になれているのではないかと存じます。我々師範にとっても、全県から御参集頂いた講員さんと、共に学び喜びを分かち合う素晴らしい機会であると共に、指導力を鍛える場としても大変有効であり、有難く感じております。

今年は初めての試みとして、禅センター布教部さんとのコラボを実現させます。仏教講座の開講式で梅花を取り入れ、更にお時間を頂戴し、御参加の皆様にお声を出して頂き、梅花流の楽しさをわずかでも感じて

もらいたいと考えております。更には壇信徒講習に布教部員に出向頂き、法話を御願いする企画も検討しております。

禅センター事業と平行して開催しております宗務所養成所も六年目に入りましたが、初級・上級・研修各コースとも順調に研修が進み、中には禅センター講師を務める師範も出てきました。願わくは、師範・詠範の数だけでは無く、講・講員の増加につながってほしいものです。本年度末には次期宗務所養成所の募集を致しますので、是非積極的にご検討賜れば幸いに存じます。

私事ながら、久しぶりに大本山總持寺の報恩授戒会に随喜して参りました。千畳敷きの大祖堂での大法要、その中で唱えられる梅花、今まで忘れかけていた感動を味わってきました。改めて梅花っていい！と確認した一時でした。聞くところによると、一時途絶えていた總持寺様での大衆対象の梅花講習も復活したそうです。是を期に梅花流の勢いが増してほしいものです。

今後も、禅センター部員一同、梅花流敷衍のため努力して参る所存ですので、どうぞ御協力宜しく御願い致します。

寺院実務研修報告

葬儀、法事の実際

宗務所研修部主催の寺院実務研修会が、平成二十八年二月二十六日に宗務所禅センターで開催された。

当日は、テーマを「葬儀、法事の実際」とし、前半は講義として秋田市西来院住職、田中裕憲師の住職学として学んでこられた、印の結び方や卒塔婆の書き方等、懇切丁寧なお話しで聴衆の興味を引いた。

後半は、葬儀、法事についてのパネルディスカッションをおこなった。参加者から活発な意見が交わされ、日頃の悩みを解決できる場でもあったと思われる。

また、参加者からの要望として、これからも日常の檀務に即した研修を望む意見が出された。

田中裕憲師

質疑応答

会場風景

聴衆の皆さま

布教師養成講座

良寛さんの生き方

満勝寺副住　佐々木　賢慈

今年二月、宗務所で行われた布教師養成講座にて、中野東禅先生のお話を聞かせて頂きました。

朝から夕方まで沢山のお話を先生から聞く事が出来ました。特に私の中で印象に残っているお話は午後の公開講座『良寛さんの生き方』についてです。

中野東禅老師

私自身まだまだ何もかもが未熟で勉強中の身でありますが、そんな私でも良寛様の事は昔絵本で読んだ記憶がありました。『子供が大好きなちょっと変わった和尚さん』それが私の中の良寛様のイメージでした。今回の先生のお話で、良寛禅僧の生い立ちや生き方を知る事が出来ました。

良寛様は越後の名主の長男として生まれながらも出家した方でありますが、子供が好きである事は非常に有名です。その中でも子供達とかくれんぼをしていて、子供達が隠れている良寛様を見付ける事が出来ずに諦めて帰ってしまい、それでもなお良寛様は翌朝まで隠れていたのを大人に発見される…といったエピソードが描かれています。しかし、「この宮の森の木下に子供らと遊ぶ春日は暮れずともよし」という歌があるように良寛様が子供達にとって、幸せな時間がいつまでも続いてほしいと願っている事が分かります。良寛様自身は裕福な家の生まれ育ちでありましたが、飢饉や災害等で明日の生活も不安定な時代で、いつ奉公に出されるかも分からない生活を送る村の子供達の為に、せめて最後の最後まで楽しい時を過ごせるように、子供達と遊んであげたいという非常に深い慈悲の心からの行動だったという事を知り、感銘を受けました。

先生がお話してくださった講義で幼い頃の印象とは少し変わって、ひたすらに慈愛の心を持って衆生と接した素晴らしい禅僧であると感じました。この恵まれた時代に生まれ育った若輩者ですが、私も良寛様のように深い慈悲の心を持って精進していきたいと改めて思いました。ありがとうございました。

越後の良寛和尚にふれて

慶祥寺徒弟　矢萩　宗淳

寒椿の美しい二月九日、布教師養成講座にて、龍寶寺御住職中野東禅老師から大愚良寛和尚の講演を賜りました。老師の奥深い識見と朗朗と響き渡るお声に心動かされ、拝聴できた御縁のありがたさに感謝の念が尽きませんでした。

良や　愚の如く　道うた寛し。
騰々任運、誰か看るを得ん。
為に山形爛藤の杖を附す。
到る処の壁間　午睡閑たり。
寛政二年庚戌冬　水月老衲仙大忍

良寛の僧名と「大愚」の号を授けた、円通寺十世大忍国仙和尚が贈られた印可証明の偈です。良寛は三十三歳のときにこの印可状を受け、生涯手元に置き、大事になさったそうです。

岡山県倉敷の円通寺にて十二年の歳月、本師国仙のもとで道元禅師の『正法眼蔵』を深く学び、寝食を忘れるほど坐禅を貫いた良寛は、その功徳力によって安らかで閑かな生滅変化しない無作の境涯を得れたと漢

詩に歌われています。

国仙に随伴し、佛道を求めた良寛は、出雲崎の名主の四男三女の長男として生まれ、十八歳の折に名主見習いとなるも調停や刑罰の立会、父親と友人の確執に苦悩し、利害関係に翻弄される世間を経験します。この体験が根底にあって、因果関係の及ばない寂静な世界に光明を見出したのかもしれません。

晩年を迎えて尚、草庵に一人住む良寛は誰に対しても親切心を施し、心清らかなれば十界全て清しと看てゆったりと生きられます。普勧坐禅儀の一節にある諸縁を放捨し、万事を休息し、是非を争わず、心意識の運転を停める身心脱落の要心を体現している良寛の姿は、無字の経として周囲の人々の心に響いたのではないでしょうか。

『ぬすびとに　取り残されし　窓の月』

幽窓に懸る月は、円い輪のように、果報に囚われない良寛の穏やかな心を映しているかのように思えて参ります。

私の抱く良寛の心象は、越後の古刹国上寺の境内に五合庵を世話してもらい、子ども達と手毬で遊ぶ姿、只そればかりでありました。しかしながら、この度の中野老師の懇切な講話から、時を超えて慕われる良寛の奥深い人生に触れることが叶いました。

質素で清々しい行いの日々を旨とし、自己を調え、現実の進行そのままを縁として受け入れた良寛の七十四年の生涯は、環境に流されやすい不安定な人の世をこれからも照らして下さると信じます。

熱心に聞く皆さま

平成28年度 梅花流秋田県奉詠大会

会場　秋田県民会館

期日　平成28年7月12日(火)

受付　午前9時

開演　午前10時30分

受講者・講員さん 募集中

仏教講座

❖第1回　7月 2日(土)
時間／13時～16時
会場／エリアなかいち　入場無料

❖第2回　9月 7日(水)
時間／12時半～16時
写経会　仏教講座前10時半より
会場／曹洞宗秋田県宗務所・禅センター

❖第3回　11月28日(月)
時間／12時半～16時
写経会　仏教講座前10時半より
会場／曹洞宗秋田県宗務所・禅センター

❖野外研修　10月12日(水)

❖公開講座　11月16日(水)
講師／南　直哉 老師

◆申込み……随　時
◆受講料……第2回以降 1,000円

梅花流講習

4月 1日(金)、 5月13日(金)
6月 3日(金)、 7月 1日(金)
9月 2日(金)、10月 7日(金)
11月11日(金)、12月 2日(金)
2月 3日(金)、 3月 3日(金)

◆講習時間……10時半～15時
◆申込み……随　時
◆受講料……無　料

◇会場・問い合わせ
曹洞宗秋田県宗務所・禅センター
(土曜・日曜・祝祭日を除く　10:00～16:00まで)
秋田市泉三嶽根15-18 TEL(018)868-6871
ホームページ　http://soto-akita.com
E-mail　info@soto-akita.com

秋田県宗務所ネット法話〈５〉

お化けにならないように～きもだめしに来た子どもたちに

寶珠寺住職　岩舘裕章

さあ、これからみんなは、お墓にきもだめしに行くんだよね。怖い人！

でも大丈夫。安心して下さい。今から、お墓が怖くなくなるお話をしますから、よ～く聞いて下さいね。

ではまず質問。お墓には誰が入っていますか？

そう、死んだ人。でも「亡くなった人」って言うほうが丁寧な言い方だね。

じゃあ、ここのお墓に、亡くなった自分のおじいちゃんとかおばあちゃんが入っているっていう人！

はい、ありがとう。じゃあ、君に質問。君をかわいがってくれたおばあちゃんが、大好きな家族の君を怖がらせようなんて思うかな？　うん、きっと思わないよね。

でも、ここには、知らない人のお墓がたくさんあるよね。その人たちは、みんなを怖がらせようとするかな？

はい、大丈夫。怖がらせたりなんかしません。君たちを怖がらせようなんて人は、一人もいません。

どうしてか？　それは、その人たちもみんな、誰かの家族だから。

そして、お墓に入っている人は、みんな「お葬式」をしているからです。

ナムナム　ムニャムニャ　ポクポク　チーン！

みんな、お葬式って何をする式か知ってる？

お葬式は、お釈迦さまという、仏さまの先生の教えを聞いて、仏さま学校の生徒になる式なんです。

つまり、お墓に入っている人は、みーんな仏さま学校の生徒なんです。

学校には、学校の決まり＝約束というものがあります。みんなの学校にもあるでしょ？　例えば、廊下を走ってはいけませんとか、大きな声で挨拶をしましょうとか。

では、仏さま学校の約束はというと、一つは「悪いことはしません」。悪いことっていうのは、よく聞いて！「もし自分がされたら嫌なこと」です。叩いたり蹴ったり傷つける、痛いのやだよねー。人のものを盗る、悲しませる、嘘をつく、失敗した人やできない人をバカにしたりからかったりする、悪口を言う、ひとりじめする、怒る。これってどれも、自分がされたらやだよね。全部、相手の気持ちを考えないことばっかりです。これが悪いこと。

そしてもう一つの約束は「善いことをします」。善いことっていうのは、悪いことの逆だから、相手の気持ちを考えて、みんなが嬉しいことをするということです。

ねえ、この約束って僕たちも同じじゃない？　そうなんだ。実は、仏さまの約束は、亡くなった人たちだけじゃなくて、僕

たち生きている人の約束でもあるんだ。

この約束を、仏さま学校の生徒は、しっかり守ります。ですから、「人を怖がらせる」なんて、みんなが嫌がることは、するわけがないんです。

逆にきっと、みんなの為に、暗いから転んで怪我をしないようにって見守っていてくれるはずです。

だからもし、今日転んで怪我をしたとしても、それは、自分が足元をよく見ていなかったからで、お化けのせいなんかじゃありません。

（お化けの絵を出す）これなんだ？

お化けって足元がよく見えないよね。これがお化けの目印の一つ。

そして、お化けの目印は、他にあと二つあります。なあーんだ？

正解は、後ろにのびる長～い髪の毛と、おいでおいでをしているような手です。

あっ、でもだからって、髪の長いお友達に「わーいおまえお化け！」なんてからかっちゃダメだよ。言われたお友達は嫌な気持ちになる。それじゃあ、さっきの約束を破ることになるもんね。

さて、このお化けの三つの目印には、ちゃんと意味があるんです。（絵をしまう）この前、僕はうっかりして、テーブルの端にあった誰かのジュースのコップを、ひっくり返しちゃったんだ。その時こう思った。

「あー、もう、どうしてこんな所に、飲みっぱなし」「誰だ、置きっぱなしは」「僕は悪くないぞ、置いた人が悪いんだ」「あー、もう、こんな所に無ければよかったのに」僕がジュースをこぼしちゃったことに変わりはないのに、終わってしまったことを、振り返り振り返り、ごちゃごちゃ考えている。これをお化けの絵では、後ろにのびる長～い髪の毛として描きます。心が、もう終わって戻らない後ろを見ている。

で、その後、今度はこう思った。

「うーん、どうしよう、いま僕は急いでるから、後で拭けばいいか」「それより、そうだ。コップを置いた人を見つけて、その人に拭かせればいいや」

今度は、先のことをもう考えている。これをお化けの絵では、遠くをおいでおいでする手として描きます。心が、まだ来ない先を見ている。

そうしているうちにも、こぼれたジュースは、どんどん足元に広がっていく。なのに、それが目に入らない。見てはいても、今どうしたらいいかが分かっていない。これが、お化けの見えていない足元。

つまり、この時、僕はお化けみたいになっていたんだ。

（絵を出す）どう、わかった？　実はお化けとは、人のせいにすることばっかり考えているわがままな人、終わったことや先のことばっかり考えていて、今自分がしなきゃいけないことが分かっていない人の姿を描いたもの。僕たち自身がそうならないようにって注意するために考えられた、悪い見本なんだ。

じゃあ、お化けにならない為にはどうしたらいいか？（絵をしまう）

ジュースをこぼしたままにしていたら、誰かが踏んだり、みんなが困るよね。だからごちゃごちゃ考えずに「今すぐ自分で拭く」。仏さまの約束を守って「みんなが嬉しいこと」をする。そうすれば、お化けにならないで済みます。

さあ、お化けの正体は、悪い見本のことだってわかったよね。それに、亡くなった人は誰も悪いことなんかしないってこともわかった。これでもう怖くないね。

では、懐中電灯でしっかりと足元を照らして、気をつけていってらっしゃい。

人権コーナー

平成28年3月7日～9日の日程で全国人権擁護推進主事研修会が東京グランドホテルを会場に、「部落差別とは何か～歴史と現地から学ぶ～」をテーマに開催されました。

初日は、「部落史から学ぶ」と題した上杉聰先生の二時間を超える歴史資料と映像を交えた講演がありました。どのようにして被差別部落が生まれてきたのか、どのような役割を担っていたのか、そしてどのような迫害・差別を受けてきたのか等、史実に沿ってご説明下さいました。「京都の銀閣寺・龍安寺」など日本を代表する庭園作りに、差別されつつも優れた技能をもった人々が関わった（庭園に用いられた大きな石や樹木を運ぶ、激しい危険な仕事に従事）事実や、「士農工商」の江戸時代の身分制度を表す表現は史実にあわない事など、初めて伺う貴重な内容でした。（参考資料『これでわかった！部落の歴史』解放出版社）

上杉聰先生

翌日は、「浅草弾左衛門と皮革産業」に関しての現地学習でした。東墨田会館内にある木下川地域の皮革産業の資料室にて、革なめしの行程・歴史などの説明を受けました。この地域は、明治の半ばに浅草を拠点としていたなめし業者を政府が強制移転を命じ集められた場所です。そして皮革の仕事についての偏見や差別と戦ってきた歴史がある事を学習しました。

岩田明夫先生

その後、実際になめし工場の見学をさせて頂きました。フォークリフトで豚の原皮が運搬され様子、人の背丈を超す大きなドラムが立ち並ぶ様、セービングマシンで革裏を削り、均一に加工していく作業など革なめしをする様子を拝見しました。「革」の字には「あらたまる」という意味があるとの説明を目の当たりにすることができました。

なめし工場の見学

午後からは、台東区の東京都人権プラザに移動し「江戸・東京の部落史」、「台東の差別事件と解放運動の今」の説明を受けてから「浅草弾左衛門エリア」のフィールドワークとなりました。「弾左衛門」は13代続いた東日本の全域の被差別民衆を支配した人物です。その配下は江戸市中の警備・警察・刑場の刑の執行官もつとめ、また、歌舞伎の興行権・皮革・灯心等の専売権なども持っていたとの事。それでも江戸の町民からは差別される対象だったそうです。ご承知の方も多いと思いますが、「蘭学事始」の「小塚原刑場での腑分」で実際に執刀したのは被差別民でした。卓越した技術と経験得た知識を持っていた人物と思います。上杉先生の講演で「差別の反対は平等だと思いますか」との問いかけがあり、「私は、互いを尊敬する・尊重する事だと思います。」と話されました。この研修を通して、差別解消・人権擁護の指針として実感できたことです。

最終日は、平成28年度の教区人権学習のテーマ「過去帳等の管理の徹底を」が確認されました。いままでも注意喚起がなされてきたことですが、いまだに徹底が必要なことです。『全国部落調査　部落地名総監の原典　復刻版』（示現社）と題する書籍を出版するという情報がインターネット上に掲載され、部落解放同盟中央本部が訴え、出版・販売を禁止する仮処分がなされています。まだまだ、身元調査に関連する事件は起こっています。教区での学習をお願い申します

以上、今後も研修を深め、皆様にお伝えしてまいりたいと思います。

（人権擁護推進主事　佐藤徳祐）

妄言風発

この紙面は皆様の思惑を掲載するフリーページです

―４教区の皆さまの声―

自分のすべきこと

清光院　佐藤　良浩

月日が経つのは早いもので、私が永平寺の修行より秋田に戻ってきて、五年が経とうとしています。私は修行に行き、初めて坐禅をしました。始めた当初は足が上がらず、まともに組めませんでした。日々の精進のおかげか、徐々に組めるようになっていきました。しかし、組めるようになってからは今日の夕飯は何だろうとか、今日はどこを掃除するのだろうとか、妄想ばかり浮かんでは消え、浮かんでは消えてと無心とは程遠く、さらに坐禅に慣れてきたせいか居眠りまでする始末でした。最近は相変わらず、無心になることは難しいのですが、住職になり四年、巡らす想いも変わり、人生とは何なのか、自分は今のままでいいのか、何かすべきことがあるのではないかと考えるようになりました。そんな時、手嶌葵さんの『明日への手紙』という曲と出会いました。

歌詞の一説に

明日を描くことを止めないで今
夢の中へ
大切な人のぬくもりをずっと
ずっと忘れずに進むの
人は迷いながら揺れながら歩いてゆく
二度とない時の輝きを見つめていたい
明日を描こうともがきながら今
夢の中で
形ないものの輝きをそっとそっと抱きしめて進むの

これから先、数年後檀家制度は崩壊すると言われている昨今で、自分は一住職としてどうすべきなのかと悩んでいる中、この曲は私を前に一歩前に進ませてくれた気がします。

今はまだ、何をしたらいいのか迷っていますが、お寺という空間で、人との縁を大切にお寺に人が集まるイベントや布教活動を小さくてもいいので、これから少しづつ始めていこうと思います。

弟子を育てるということ

石龍寺　工藤　範隆

私事ではありますが、昨年一人息子が得度式を挙げました。想えば物心ついた頃から、年始まわりを手伝ったり、お盆の棚経には一緒にお邪魔し、隣に座ってお勤めさせて頂いたものです。幸いにも、嫌がる素振りもせず、檀信徒の皆様にも喜ばれておりました。

そんな息子も小学四年生（十歳）になり、得度のご縁を頂き、お坊さんの仲間入りをさせてもらいました。式に随喜された御寺院様や檀信徒の方々より祝福を受け、中には泣いて喜んでおられる方もいて、本人にとっても印象に残る得度式でした。その後の四年生の文集中に、将来の夢と題して「お坊さん」と書いて、その理由に「お爺ちゃんやお父さんのように、死んだ人を安らかにさせてあげたいから……」とあり、驚きと嬉しい気持ちになったものです。

弟子を育てるという意味では、まだまだ先が長く予想も出来ないことが待ち受けてるでしょうが、今はその素直な気持ちを大事にさせてあげたいと思っています。自分を振り返ってみると、師匠には決して何かと強制された事はありませんでした。そんな中で自然と、この道に導いてくれたのは師匠のお陰と、今更ながら兄弟子共々感謝に堪えません。私も弟子には、今の素直な気持ちを大事にしてもらい、この仏道に導けるよう見守っていきたいものだと思っております。十年後、二十年後我々寺院を取り巻く様々な環境も変わっていくでしょうが、自分自身、僧侶としての本分を見失うことなく日々お勤めすることが、今の私に出来る精一杯のことだと感じています。

※当コーナーの掲載順は原稿到着順です。また、肩書きとご氏名は原稿に準じました。

閑話

珠林寺　鮎川　義孝

昨年十月、珠林寺坐禅会連続五百回記念法話会を開催しました。坐禅会は昭和四十九年三月から月に一回坐っています。その間、一度の中断もなく、去年の十月が五百回目でした。四十一年余の歳月でした。厳寒の二月、坐禅会の会長さんと凍えそうな本堂で二人きりで坐ったこともありました。何とか息をつなぐことができました。

記念法話は北秋田市太平寺東堂様にお願いし快諾していただきました。当日は坐禅・記念法話・祝賀会と実のある一日でした。檀家さんにも呼びかけ、六十余人の参加があり、大変盛会でした。これを機に新入会員、休眠会員の復活もあり、十数名で月に一度坐り続けています。

平成十年、私の晋山結制でした。この時、初めて梅花を聞いた檀家さん達が是非おぼえたいから何とかしてくれとのこと。私は梅花ができませんので逡巡しておりました。五年後の平成十五年、由利本荘市長谷寺様に講師をお願いしたところ快諾いただき、同年四月から梅花教室（月一回）を開くことができました。開講当初は四十人の受講者で大変盛況でした。最近は受講者の高齢化で参加できない人が多くなり、こぢんまりと月一回続けています。スタートから十三年が過ぎ、この七月には百六十回目となります。

三年前、副住職が写経会（年十回）を立ちあげました。静かな本堂で一心に写経する姿は美しく、清浄感が堂内に漂います。

何とかお寺に足を運んでほしい。そんな思いで坐禅（月一回）梅花（月一回）写経（年十回）が長く続いてくれればと念じています。この三つがあれば少なくとも月に三回、年間三十六日はお寺に誰かが来てくれるのですから。継続は力、そんな思いです。

「倦まず、半ば弛みつつ、適度にいいかげん」物事を長く続けるには大事なことかなと思います。この三要素が最高の良い加減・心身のベストコンディションと心得て日々過しています。日々是好日

○熊本地震に対するご支援ご協力のお願い

曹洞宗では今般の「平成 28 年熊本地震」に対する支援のため、義援金のご協力をお願いしております。皆さまの温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

「平成 28 年熊本地震」に対する支援については『曹洞宗報』綴じ込みの振替用紙をご利用の場合は、大規模災害に備えての支援金としての項目にチェックを入れていただき、ご協力お願いします。

それ以外の振替用紙をご利用の場合は、通信欄に「熊本地震支援」と記載の上、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

【曹洞宗義援金　受付窓口】
金融機関：ゆうちょ銀行・郵便局
郵便振替：00190-2-604062
口座名義：曹洞宗義援金

【担当課】
総務部福祉課　TEL：03-3454-5421
FAX：03-3454-6705

トピックス

○ご退任

第二教区長　菅野宗一（鷲林寺住職）
ご苦労様でした。

○ご就任

第二教区長　小澤孝道（天昌寺住職）
お世話になります。

○春の叙勲

瑞宝双光章

奥山芳壽（10教区　浄福寺住職）
更生保護功労。保護司。

鷹照賢隆（３教区　萬福寺前住職）
地方自治功労。元由利本荘市副市長。

中村秀男（17教区　霊仙寺住職）
教育功労。元大曲小校長。

○正力松太郎賞受賞

袴田俊英（９教区　月宗寺住職）

公益財団法人全国青少年教化協議会（東京都中央区）は第40回正力松太郎賞の受賞者を発表、藤里町の月宗寺住職の袴田俊英老師が選ばれた。心といのちを考える会会長として、長年にわたり地域に根差した自殺予防活動に取り組んでいることが評価されたもので、「自死予防活動に取り組む人たちの代表として評価されたと考えている」と喜びを語った。

皆さまのご受賞にあたり、心からお祝い申し上げます。

○はがき禅

北秋田市太平寺東堂、亀谷健樹老師が44歳の時に書き始めた、はがき一枚４５０字ほどのエッセーが、９００編を越えたというお話しが秋田魁新報に掲載されていた。（平成28年２月10日水曜日）

老師の『はがき禅』を楽しみにお待ちの方々は御檀家さまや管内の御寺院さまのみならず県外のご縁の皆さまもおいでだと伺った。２００編ごとに１冊のご本にしておられ、読んだ方々からは「生きる指針になった」などのさまざまなご感想が寄せられている。

老師は県現代詩人協会の会長も務められた方で、題材は音楽や絵画を鑑賞した感想や、日常の一こま、旅先での見聞とさまざまだ。

これまでに出したはがき禅の本は４冊。２０１２年４月に４冊目の「みちのくの風骨」に収めた第７９８編（11年５月16日付）では、東日本大震災の約２ヶ月後に開かれた地元・合川東小学校（現合川小）の運動会を取り上げた。

老師は子どもたちのリレー競争を見て、津波で亡くなった宮城県の児童の無念を思う。そして、はがき禅に「被災早逝の子どもの遺志は、バトンリレーしなければならぬ」と書いた。目の前で走る子どもたちに、未来を奪われた児童の分まで生を全うしてほしい、との思いが伝わる。老師は取材に「はがき禅を１千信出す。93歳の出版だ。夢みたいだが任運天（運を天に任せる）である」と書いておられる。

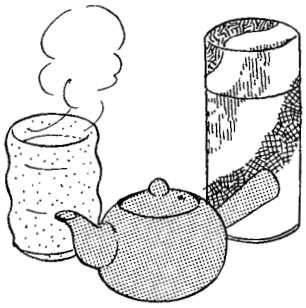
筆者も老師の『はがき禅』を楽しみにしている一人である。

○寄贈本のご紹介

・詩集　杉露庭のほとり　著者：亀谷健樹　出版：書肆えん

・亀谷健樹詩禅集　著者：亀谷健樹　出版：コールサック社

ご寄贈いただきました。



表紙の言葉

題名　「緑風」

撮影日　平成25年５月17日

三年前のいささか古い写真だが、季節感生活感で選んだ。子らの健やかな成長を願うのは、いつの時も何人も変わらない。と共に子どもの澄んだ真っ直ぐなまなざしには多くを教えられる。新緑爽風に眼を洗い、身心清々し く努めたい。

宗務所だより

平成28年1月以降

◎宗務所梅花講役員会
1月26日

◎梅花流指導者養成講座一泊研修会
1月29日～30日

◎梅花流講習会
2月4日

◎宗務所災害対策協議会
2月5日

◎諮問委員会
2月5日

◎布教師養成講座
2月9日
午後　公開講座
講師　中野東禅先生　「良寛さまのこころ」ほか

◎教化センター教化活動企画委員会
2月9日

◎宗務所梅花講講長会
2月23日

◎実務研修会
2月26日
講師　田中裕憲師（西来院）「葬儀、法事の実際」ほか

◎梅花流指導者養成所
3月1日

◎東北管区宗務所長会
3月3日

◎教化センター教化活動推進委員会
3月3日

◎梅花流講習会
3月4日

◎梅花流指導者養成所
3月8日

◎全国宗務所長会議・実務担当者会議
3月9日

◎通常所会（予算）
3月24日

謹んで弔意を表します

教区	寺番	寺院名	在籍区分	氏名	年月日	享年
1	331	吉祥院	寺族	金澤キン子	27・4・17	86
16	206	松雲寺	東堂	中村恬雄	27・4・29	96
8	227	曹渓寺	寺族	伊藤ユキ	27・5・10	96
11	319	長年寺	寺族	松井シジ	27・8・29	93
14	119	陽山寺	住職	大沼進悦	27・11・1	61
1	5	嶺梅院	寺族	三浦榮子	28・2・4	84
18	300	永安寺	東堂	藤原興道	28・2・7	74
8	222	龍像院	寺族	山谷彣子	28・2・8	88
5	160	雲岩寺	住職	二坂信邦	28・2・16	68
3	77	永泉寺	東堂	猪股弘雄	28・3・8	92

第48回檀信徒本山研修会

期日：平成28年10月18日(火) ～ 10月21日(木) …3泊4日

会場：大本山總持寺本山研修と東京都内・伊香保温泉

日程表

月日	行程	食事
10／18(火)	5：00～6：30頃 各地 ＝ 北上JCT ＝ 長者原SA ＝ 那須IC ＝ 12：30頃 蓮田SA ＝ 16：30頃 汐入IC ＝ 大本山總持寺【第48回檀信徒本山研修会】	×昼夕
10／19(水)	8：45頃 【檀信徒本山研修会】總持寺 ＝ 首都高 ＝ 麻布：永平寺東京別院 ＝ 11：30 日の出桟橋 ＝ 12：10 浅草 ＝ 14：30頃 とげぬき地蔵 ＝ ホテル ＝ 21：00頃 歌舞伎座 ＝ 都内泊	朝昼夕
10／20(木)	9：00 都内 ＝ 美女木JCT ＝ 大泉JCT ＝ 富岡IC ＝ 11：10頃 富岡製糸工場 ＝ 高崎観音 ＝ だるま工場 ＝ 17：00頃 達磨寺 ＝ 伊香保温泉泊	朝昼夕
10／21(金)	8：00 伊香保 ＝ 沼田 ＝ 吹割の滝 ＝ 湯滝 ＝ 戦場ヶ原 ＝ 11：40頃 中禅寺湖 ＝ 18：30～21：00頃 清滝IC ＝ 宇都宮IC ＝ 安達太良SA ＝ 山形・東北自動車道 ＝ 各地	朝昼×

※交通機関又は道路事情等により時刻・行程等が変更になる場合もあります。

編集後記

今日、五月八日は母の日である。子の生涯にわたる無事を親は念ずるものであろう。

修証義・第五章行持報恩に

「願生此娑婆国土し来たれり、見釈迦牟尼仏を喜ばざらんや。」

子どもたちは、多くの大人の願いを受けて生まれてきたものであろう。そして、悩み多き人間世界に生まれたからこそ、お釈迦さまのことばを聞き、姿を見ることができた。この仏縁を喜びたい。とお示しである。

しかし、子の一生を親は見届けることは出来ない。もし、あるとするならば、子の人生が理不尽に断たれたときだろう。

その理不尽と向き合わねばならない人々が熊本の被災地にいる。「頼りにしていた娘が先に逝くなんて」「旅行しようと誘われていたのに」「跡を継いでほしいと考えていた」。等々、報道で親たちの絞り出す声を聞いた。

一月のバス転落事故では、大学生十三人がその尊い命を失った。その時の報道でも、親の痛哭があった。

世界から戦争をなくす。災害に強い社会を築く。事故の起きない仕組みを作る等々。世にいう進歩は不条理に苦しむ親を減らす歩みに一致する。

今年度、宗務所の研修会のテーマは「葬儀」。

今だからこそ学び直したいと考えて定めた。冥福を祈る行持に身近な方々の思いに寄り添いたい。

（昭道記）

年間行事予定

平成28年度(2016)

月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
4	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
APR	梅花流講習会				梅花流指導者養成所							寺族会総会	梅花流指導者養成所							三教区永泉寺本葬										昭和の日					
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
5	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火				
MAY			憲法記念日	みどりの日	こどもの日	梅花流指導者養成所					布教委員会・協議会	梅花流指導者養成所	梅花流講習会		十八教区永安寺本葬				梅花全国大会				布教師養成講座												
月/日	1	2	3			4			5	6	7	8			9	10		11			12	13	14	15	16	17	18	19		20					
6	水	木	金			土			日	月	火	水			木	金		土			日	月	火	水	木	金	土	日		月					
JUN			梅花流講習会		十一教区隆昌寺晋結		十六教区龍泉寺晋結			監査会	宗務所講師等研修会			四教区永傳寺晋結			十五教区妙音寺本葬			婦人会総会			特派布教					梅花流指導者養成所		宗務所護持会総会		梅花特派				
月/日	1	2	3	4	5		6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
7	金	土	日	月	火		水		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
JUL	梅花流講習会	仏教講座①		梅花流指導者養成所	梅花流指導者養成所	管区婦人会研修会		研修部①						県梅花大会						海の日											通常所会（決算）				
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
8	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				
AUG						宗務所休務					山の日										宗務所休務	布教師養成講座													
月/日	1	2	3	4	5	6		7		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
9	木	金	土	日	月	火		水		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
SEP		梅花流講習会				管区寺族会研修会	梅花流指導者養成所	写経会・仏教講座②	管区寺族会研修会	梅花流指導者養成所					現職研修会						敬老の日	梅花検定会			秋分の日										

友引　管区　宗務所　宗務庁　県内寺院